

J T C C ニュース (日本繊維技術士センター ニュース)

I. (日本繊維技術士センターの行事予定)

(一社) 日本繊維技術士センターのホームページは、「繊維 J T C C」で検索できます。

< J T C C 講座のご案内 >

(各講座のコロナ対策: 募集人員の制限、体温が 37.5℃以上の方は受講不可、マスク着用、手の消毒)

申し込みの詳細は、JTCC ホームページをご覧ください。

◆ JTCC の「知っておきたい高性能・高機能繊維の基礎と用途展開」講座 (大阪会場)

日程	テーマ(講師)	会場
2021 年 9 月 11 日 9 時 30 分～ 16 時 50 分	・高性能繊維と高機能繊維総論 ・高機能繊維(中空繊維、医療用繊維、環境対応繊維)の製法・特性 ・高性能繊維(PBO 系繊維)の製法・性能・用途展開 ・高性能繊維(ポリアクリレート系繊維、他)の製法・特性・用途展開	大阪産業創造館 6F E 会議室
2021 年 9 月 18 日 9 時 30 分～ 16 時 50 分	・不織布の分類・製法・特性・用途展開他 ・ナノファイバーの技術開発と用途展開 ・アラミド繊維の製法・特性・用途展開 ・炭素繊維の製法・特性・用途展開	大阪産業創造館 6F E 会議室

受講料金 24,000 円 定員 72 名

申し込みの詳細は、「添付資料」あるいは「JTCC ホームページ」をご覧ください。

◆ JTCC の「知っておきたい高性能・高機能繊維の基礎と用途展開」講座 (金沢会場)

日程	テーマ(講師)	会場
2021 年 9 月 25 日 9 時 20 分～ 17 時	・高性能繊維と高機能繊維総論 ・アラミド繊維の製法・特性・用途展開 ・高機能繊維(中空繊維、医療用繊維、環境対応繊維)の製法・特性 ・不織布の分類・製法・特性・用途展開他 ・ナノファイバーの技術開発と用途展開 ・炭素繊維の製法・特性・用途展開	金沢市 石川県地場産業 振興センター 新館 第 10 研修 室

受講料金 11,000 円 定員 52 名

申し込みの詳細は、「添付資料」あるいは「JTCC ホームページ」をご覧ください。

◆ JTCC の「知っておきたいアパレル製品の基礎知識」講座 (オンライン)

Part I、II のご案内 (「添付資料」を参照してください)

アパレルビジネスを行う上で、必要な技術的基礎知識を習得して頂きます。内容が豊富なため 2 回に分けて講座を開催します。Part I と Part II を受講して頂いて完成です。

Part I は、アパレルに用いられる繊維材料や試験方法、材料に関するトラブルと解決方法について解説します。

(開催日時は、2021 年 10 月 2 日、9 日、16 日 13 時～17 時)

Part II は、アパレル生産に関して生産設備や縫製技術、アパレルに関する表示、縫製や表示に関するトラブルと解決方法について解説します。(開催日時は 2022 年 2 月 12 日、19 日、26 日を予定しています。)

Part I 講座スケジュール

日程	テーマ	時刻 (休憩時間含む)
1日目 2021年 10月2日(土)	挨拶	13:00～13:10
	I. アパレル製品から見た材料	13:10～15:00
	II. アパレル製品から見た染色・仕上げ加工	15:00～17:00
2日目 2021年 10月9日(土)	III. アパレル用副材料 (ネーム、ラベル)	13:00～13:40
	IV. アパレル用副材料 (接着芯地)	13:40～14:20
	V. アパレル製品の試験、特殊な試験、混用率	14:20～15:40
	VI. アパレル製品に用いる機能性材料の試験方法	15:40～17:00
3日目 2021年 10月16日(土)	VII. アパレル製品の安全・安心	13:00～13:50
	VIII. アパレル製品の洗濯とメンテナンス	14:00～15:00
	IX. アパレル製品の消費者クレーム	15:00～17:00
	IX-1 苦情事例<芯地の接着不良>	15:00～15:30
	IX-2 苦情事例<昇華堅ろう度>	15:30～16:00
	IX-3 苦情事例<ピリング・スナッグ>	16:00～16:30
	IX-4 苦情事例<ポリウレタン繊維の脆化>	16:30～17:00

受講料: 20,000円 定員:100名

Part II 講座スケジュール(予定)

日程	テーマ	時刻
1日目 2022年 2月12日(土)	I. アパレル製品の企画・設計	13時～17時
	II. アパレル製品の生産工場における生産設備	
	III. 無縫製技術	
	IV. アパレル生産工場の監査方法	
2日目 2022年 2月19日(土)	V. アパレル製品の縫製要領と縫製機器	13時～17時
	VI. アパレル製品の検査と品質管理	
	VII. アパレル製品の製造・流通における環境問題、SDGs	
3日目 2022年 2月26日(土)	VIII. アパレル製品の表示と法律	13時～17時
	IX. アパレル製品の生産トラブル <地糸切れ>、<シームパッカリング>、<斜行>、 <品質表示の間違い事例>	

◆JTCC「第84回 公開講演会」(共通課題)

(詳細、参加申し込みはJTCCホームページをご覧ください。)

回	テーマ(講師)	日時	会場
84回 公開 講演会	SDGsと繊維産業の現状とギャップを埋める 日本繊維産業連盟 長 保幸氏	2021年9月18日(土) 13時30分～16時30分	アーバネックス 備後町ビル 3F オンラインに変更する 場合があります。
	グリーンインフラの意義と各都市における導入事例 (一社)グリーンインフラ総研 木田幸男氏		
85回 公開 講演会	テクニカル・テキスタイルの最近の動向 技術ジャーナリスト 塩谷 隆氏	2021年10月30日(土) 13時30分～16時30分	オンライン
	スキンケア用ファインファイバーテクノロジーについて 花王(株) 東城武彦氏		

公開講演会の参加費: 2000円 オンライン時、「資料のみ」の参加は不可です。

II. (業界ニュース)

1. 経済産業省(生活製品課)

経産省は、繊維産業のサステナビリティに関する検討会を 2021 年 2 月～7 月まで行った。

その結果を以下にまとめた。それぞれの詳細は、検討会開催月に掲載されている。

「繊維産業のサステナビリティに関する検討会」報告書概要

「繊維産業のサステナビリティに関する検討会」プレゼンテーション・ポイント集

2. 環境省(2021 年 3 月号より新設しています)

・新情報なし

3. 日本化学繊維協会、日本綿業振興会、日本染色協会

●日本化学繊維協会 (詳細は化繊協会のホームページ参照してください)

・新情報なし

●日本綿業振興会 (詳細はホームページ参照)

・新情報なし

●日本染色協会 (詳細はホームページ参照)

・新情報なし

3. (一社)日本衣料管理協会、(一社)繊維評価技術協議会(繊維技協)

●(一社)日本衣料管理協会

・新情報なし

●(一社)繊維評価技術協議会(繊維技協)

・新情報なし

●関西ファッション連合

・新情報なし

●その他情報

(一社)日本衛生材料工業連合会

「医療用マスク、一般マスクの JIS 適合申請用表示・広告ガイドライン」が告示されています。

企業紹介

東海サーモ株式会社

TOHKAI THERMO

QUALITY FIRST

ファッションの進化にも、挑戦にも、
きっとそこには東海サーモの衣料心地。

1958年の創業以来、東海サーモは芯地メーカーとして、アパレル業界のものづくりを支えてきました。そこには、日本に製造・開発拠点を置き、一貫生産で守り続けた品質へのこだわりがあります。私たちはこれからも、独自に培った技術ノウハウや開発提案力を強みに、世界中のお客様に喜ばれる製品づくりに取り組んでいきます。より機能的に、より軽く、より強く。芯地の進化は、今までできなかったことを可能にし、ファッションに新しい価値を生み出すと信じて。

東海サーモ株式会社
http://www.thermofix.co.jp/

●本社/本社工場
●西大阪工場
●東大阪工場
●大塚工場

岐阜県大垣市大井4丁目53
TEL(0584)82-3111(代)
岐阜県大垣市大井4丁目57
東京府千代田区本町3丁目11-8 本町ビル5F
大阪府大阪市中央区南船場1丁目4-1 TTNビル302号

●伊勢製衣株式会社 上海事務所
●伊勢製衣株式会社 上海工場
●東海サーモ株式会社 香港事務所

上海事務所
上海工場
香港事務所



東伸工業株式会社

染色加工のデジタル化を実現するインクジェットプリンター

中国最大 **Atexco** 社製 高速インクジェットプリンターの販売を開始

高速プリント用 VEGA 8180 DI

¥15,000,000 ~ *1



【VEGA 8180 DI の主な仕様】

- ・高速プリントに適した京セラヘッド8色×4列
計32ヘッド搭載（解像度：600×600dpi）
- ・速度：通常の2パスモードで世界最速クラスの320m/h
- ・プリント幅：1,800mm
- ・インク種：反応、酸性、分散

*1：本体のみの価格です。仕様、メンテナンス契約の内容によって異なります。

転写紙プリント用 MODEL X 8U-8

¥10,000,000 ~ *1



【MODEL X 8U-8 の主な仕様】

- ・高速プリントに適した京セラヘッド8色×1列
計8ヘッド搭載（解像度：600×600dpi）
- ・速度：1パスモードで220m/h,
2パスモード130m/h
- ・プリント幅：1,800mm

繊維機械、その他海外製品の輸入代行、据付、アフターサービス等、ご要望に応じ対応、相談をさせていただきますので、ご遠慮なくお問い合わせください。

Ⅲ. (技術情報)

詳細な内容は各学会誌、月刊誌をご覧ください。

◆＜繊維学会誌＞ 2021 年 8 月号

特集＜2020 年度繊維学会賞＞

○再生医療を指向した新規シルクフィブロイン機能性の創製

東京農工大学

中澤靖元

シルクは約 8500 年間に衣料品として生産されていた。

シルク成分(シルクフィブロイン:SF)と熱可塑性ポリウレタン(PU)を用いて人工血管や心臓修復パッチを作成する。

・素材・材料としてのシルクフィブロインと組織工学材料としての設計戦略

・SF と合成高分子を複合化した循環器系組織光学材料の創製

・機能性分子の修飾によるシルクフィブロインの機能化

○クモ糸の階層構造と材料設計

京都大学

沼田圭司

・研究の発想と戦略

シルクタンパク質(MaSP)が本来有している生化学的特性を利用する。強度と伸びを備えたタンパク質材料を創出する。

・MaSP の機能と牽引糸の階層構造

・まとめ

水溶性とpH応答性に優れたクモ糸シルクタンパク質 MaSP を利用した結果、天然クモ糸に類似した紡糸機構を再現した。クモ糸の形成機構における LLPS(液液相分離)の重要性を明らかにした。

○持続可能な社会の実現を支える化学繊維産業

日本化学繊維協会

寺井秀徳

大松沢明宏

日本化学繊維協会のサステナビリティ対応方針

・化繊産業の使命

・持続可能な社会の実現を支える化学繊維産業の取組と課題

(1) 資源循環の実現

①回収ペットボトルのリサイクル ②繊維製品のリサイクル ③植物由来原料の活用

(2) 環境負荷の低減

①CO₂ 排出量削減 ②海洋プラスチック問題への対応 ③化学物質管理

④繊維サプライチェーン全体としての取り組むべき課題

(3) 持続可能な社会の実現に貢献する化学繊維製品の拡大

①ポストコロナ時代の化繊産業の貢献 ②標準化活動の促進

＜繊維・高分子の測定法(15)＞

○分光測色計を用いた繊維製品の実用的な白色度測定方法

ユニカミノルタ(株)

向井隆晋

＜業界マイスターに学ぶ せんい産業資材の基礎知識—5＞

このシリーズは、2021 年 4 月号より始まり、今後約 2 年間継続掲載されています。

○第2編「産業資材用繊維原料」(4)無機繊維 ①ガラス繊維 (一社)日本繊維技術士センター 杉山和典

・ガラス繊維の分類と用途

・ガラス長繊維

特徴、組成、製法、製品形態、用途

・ガラス短繊維(株)

特徴、組成、製法、製品形態と用途

＜繊維関連の美術館・博物館＞

○京都工芸繊維大学 美術工芸資料館

美術工芸資料館館長

並木誠士

【繊維学会記念連載】

○繊維産地の盛衰2

繊維・未来塾 幹事

松下義弘

「ファッション産業の環境負荷調査」について

環境省「ファッションと環境」タスクフォース副リーダー 河村玲央

・本調査の背景

国際社会の於いてはファッション産業の環境負荷削減に取り組む様々な動きがある。日本国内に於いては、同様の認識の広がりには限定的であった。

1. 本調査の概要: ファッション産業の環境負荷、サステナブルファッションの実現に取り組む事例、サステナブルファッションに関する消費者アンケート、サステナブルファッションの推進に関する Web サイト
2. 今後の方向性: 「大量生産・大量消費・大量破棄」⇒「適量生産・適量購入・循環利用」

＜シリーズ「SDGsへの取り組みと環境配慮型繊維」＞

○環境配慮型繊維ウールの新しい展開

日本毛織(株) 伊勢智一

- ・ウール樹脂: 防縮(クロイ)加工、プラズマ加工、ウールの樹脂化、生分解性(水中)
- ・貴金属吸着剤: 原料、実験方法、結果
- ・抗菌ウール: セリウム加工、抗菌性評価
- ・ウールの SDGs における価値の定量化: 生分解性、LCA(二酸化炭素排出量)、消臭性、快適性

＜シリーズ「感染症と繊維」＞

○抗ウイルス素材「ヴァイアブロック®」

日本エクスラン工業(株) 小見山拓三

- ・抗ウイルス素材ヴァイアブロック®について
- ・抗ウイルス性能について
- ・抗ウイルスメカニズムについて
- ・抗菌、抗カビ性能及び、消臭性能について
- ・ヴァイアブロック®の安全性

＜シリーズ「地域に根差した繊維産業」＞

○立ち止まらぬ「快社=会社」

高橋練染(株) 松田隆年

○職人双六“金彩友禅”～私から公へ～

光映工芸(株) 和田光正

＜報文＞

○精神科入院患者に求められる寝具の色 ―夏季と冬季調査比較―

福岡女子大学 原 やよい、庄山茂子 福岡看護大学 中島富有子

○Textile Exchange(TE)の認証・認定制度

(独法)製品評価技術基盤機構 橋本秀和

(独法)製品評価技術基盤機構は、TE の規格に基づいて、環境保全、人権や動物福祉に配慮した製品の認証を行う機関の認定のサービスを行う。

- ・Textile Exchange: 繊維に関する製品や原材料の内容がサステナブルであることを第三者によって確認する。



図2 認証製品を識別するためのマーク (リサイクル繊維の場合の例)

○「超臨界二酸化炭素中でのポリエステル繊維の膨潤・可塑化」

福井大学 廣垣和正

- ・scCO₂ 中でのポリエステル繊維の物理的挙動
- ・高圧 CO₂ 中での PET 繊維の動的収縮測定による可塑化効果の評価

○「横編機の編成方法「i-Planting®」の特徴とメカニズム」

(株)島精機製作所 山野浩稔

- ・インバースプレーティングの特徴 (i-Planting®: ループプレスサーの出力制御を同一コース内で針 1 本単位に行う方法)
- ・i-Planting®の特徴とメカニズム
- ・i-Planting®の製品

(月刊誌)

◆＜加工技術＞ 2021 年7月号

○繊維加工産業の脱炭素社会への入り口

森本技術事務所 森本國宏

- ・はじめに: 最近の気候変動について
- ・日本国内の取り組み: 2020 年に改訂された省エネルギー法のカバー範囲について
温暖化ガス排出部門比較 製造業(35%)、運輸部門(19%)、業務部門(17%)、家庭(14%)、その他(15%)
- ・繊維加工産業の温暖化防止策
染色加工業 エネルギー源 重油⇒ガス
2021 年の制度改正「工場・事業所における先導的な脱炭素化取り組み推進事業」として実施している。
JTCC ではこれらへの対応を案内させていただく。

＜特集 衛生加工 Part-3＞

○抗菌性・抗ウイルス性試験、消臭試験の概要

(一財)カケンテストセンター 齋藤寿叙、高嶋恒男

- ・消臭加工
- ・アレルゲンについて
- ・抗カビ加工

○産業資材を中心とした直近の海外ピックアップ

シオタニ&オフィス 代表 塩谷 隆

- ・織・編・コンポジット技術

◆＜不織布情報＞ 2021 年7月号

＜用途特集＞ 建防災・災害対策 ～資材の在り方～

- ・災害復興とジオシンセテック

(地独法)大阪産業技術研究所 西村正樹

◆＜新聞、他＞

織研新聞

○2021 年 1 月～6 月 の衣料品の輸入(ニット製品、布帛製品、付属品) (前月と同内容)

順位	国	数量:百万点(増減%)	シェア	金額:億円(増減%)	シェア
1	中国	264 (8. 6)	60. 8	6, 865 (2. 5)	56. 6
2	ベトナム	59 (▼4. 5)	12. 9	1, 844 (▼9. 3)	15. 2
3	バングラデシュ	33 (19. 5)	8. 0	606 (8. 9)	5. 0
4	カンボジア	20 (6. 2)	5. 2	523 (▼4. 6)	4. 3
5	ミャンマー	15 (▼16. 0)	3. 5	388 (▼25. 0)	3. 2
	全世界計	434 (5. 4)	100	12, 129 (▼0. 7)	100

出所: 日本貿易統計

Ⅳ. 企業紹介、製品紹介

テックワン株式会社



晴れた日に子どもにさしてほしい傘

陽まもり傘

夏の強い日差しから
君の笑顔を守りたい

HIMAMORI-SAN 夏の太陽は子どもの体力を奪う強敵です。
だからこそ晴れた日も子どもに傘をさしてほしい。
そんな想いから、遮熱性と防水性に優れた子ども用の傘を作りました。
“陽まもり傘”は雨だけでなく、太陽の熱と紫外線から
大切なお子様をお守りします。

50%以上の遮熱効果（熱中症予防）

＜通常の雨傘使用の場合＞
熱は傘を通過し、人形の温度が上昇

＜陽まもり傘使用の場合＞
傘の裏面に、特殊フィルム加工を施した生地が熱を遮蔽し人形の温度上昇を防いでいます

紫外線の遮蔽率99%
裏面の特殊フィルムは紫外線もカットしてくれます。

お子様の安全に配慮
露先を傘生地で包む事で、突起箇所を減らしました。
(特許出願中)

陽まもり傘（HIMAMORI-SAN）子ども用（晴雨兼用傘）
カラー／ホワイト、サックスブルー
3,000 円（税込、送料込）
販売場所 TEXTILE PROJECT

購入はこちら /


 **テックワン株式会社**
TEL 0761-55-0761 <http://www.tecone.co.jp/>

「JTCCニュース」では、毎月数社の企業紹介や製品の案内をさせていただきます。

掲載をご希望の方は、Jtccnews@mbrnifty.com に投稿してください。（掲載料金は無料です）

賛助法人・団体会員様の声（技術的な問題、JTCCに対する声などをメールでお聞かせください）

連絡先：jtccnews@mbrnifty.com

JTCCニュース用のメールアドレスは、Jtccnews@mbrnifty.com です。

編集：一般社団法人 日本繊維技術士センター 企業接点強化部会 金田哲郎

一般社団法人 日本繊維技術士センター（JTCC）

本部事務所 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目4番9号 輸出繊維会館6階

☎ 06-6484-6506 FAX 06-6484-6575 E-Mail jtcc@nifty.com

関東支部事務所 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-9（滋賀ビル506号室）

☎ 03-5643-5112 FAX 03-5614-0103 E-Mail jtcc-kt@nifty.com

東海支部事務所 〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35-18 一光大須ビル7階

（公財）中部科学技術センター内 ☎ 052-231-3043（代） FAX 052-204-1469